

日時 | 2014年**8月23**日(土) 15:00~

会場 | 石川県地場産業振興センター

新館5F 第12研修室

<裏の会場案内をご参照ください。>

テーマ

『心臓リハビリテーションについて』

専門医の立場から

やわた メディカルセンター

副院長 **勝木 達夫** 先生
日本心臓リハビリテーション学会 評議員

薬剤師の立場から

JCHO 九州病院(旧 九州厚生年金病院)

薬剤部 **吉国 健司** 先生
日本心臓リハビリテーション学会 評議員

コメディカルの方もご参加いただけます。

- 石川県病院薬剤師会生涯研修制度・・・1単位
- 心臓リハビリテーション指導士更新単位・・・5単位

共催

石川県病院薬剤師会/トーアエイヨー株式会社

連絡先: 080-5576-5109(モモタ)

Opening Remarks: 金沢医科大学病院 薬剤部長 西尾 浩次 先生

専門医の立場から

15:10～16:10

座長: 石川県立中央病院 薬剤部長 柏原 宏暢 先生

『 心臓リハビリテーションが なぜ必要なのか 』

やわた メディカルセンター

副院長 勝木 達夫 先生

<コメント>

心疾患患者に対する運動療法は、慢性心不全、虚血性心疾患ともにその有用性がガイドライン上もClass I、エビデンスレベルAとして認められている。運動療法単独よりも生活習慣病に対する行動変容プログラムを併施した方が、より効果が高い。運動療法は体力、筋力の向上、血管内皮機能や自律神経機能の改善、QOLや抑うつ症状の改善、バイパス血管再閉塞率やステント再狭窄率の低下などが示されている。運動療法のエビデンスの確認と最近の心疾患患者に対する運動療法のトピックス(比較的安定している患者に対する高強度インターバルトレーニング、肥満者の効果的な減量のための低強度持続性トレーニング)を交え、心疾患外来患者における運動療法での具体的な指導方法や診察時の確認事項について、特に慢性心不全患者、虚血性心疾患患者、下肢閉塞性動脈硬化症患者につき概説する。

※ 2014年 9月1日より、授与期間制限が解除されます。

薬剤師の立場から

16:10～17:10

座長: やわたメディカルセンター 薬剤課 中村 美紀 先生

『多職種協働(IPW)による包括的 心臓リハビリテーションの実践 ～薬剤師の立場から～』

JCHO 九州病院

薬剤部 吉国 健司 先生

<コメント>

心臓リハビリテーションにおいて、高齢化・多様化する患者の
状態や問題に対して、運動療法のみならず、薬学的管理や生
活指導、栄養指導、心理カウンセリングなど、多職種協働
(IPW)による包括的アプローチが必要であり、緊密に連携する
チーム医療として対応することが望ましい。

心臓リハビリテーション参加患者は、循環器用薬ばかりでなく、
他の合併症のための薬を多数併用している頻度が高く、疾患
と薬剤の禁忌に関しても注意を払う必要がある。演者らは、薬
の副作用や相互作用などを未然に防ぐため患者の薬学的管
理項目に関して医療スタッフ間で情報共有できるようにすると
ともに、特に問題となる症例については定期的カンファレンス
で検討するなどの取り組みを行っている。

本講演では、包括的心臓リハビリテーションにおける薬剤師の
役割について述べる。

Closing Remarks: 金沢脳神経外科病院 薬剤部長 熊橋 裕人 先生

会場のご案内



石川県地場産業振興センター
金沢市 鞍月2丁目1番地
Tel:076-268-2010

A 地場産業
振興センター新館

新館5F 第12研修室

